

西中

男女総合優勝を飾る



祝男女総合優勝



声援に笑顔で応える女子リレーチーム

「全日本中学校通信陸上競技大会千葉県大会」が7月5日・6日、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で、「千葉県中学校総合体育大会陸上競技大会」が7月27日・28日、東総運動場で開催されました。両大会で西中学校が男女総合優勝し、男女9人の選手が、8月18日から新潟県で行われる全国大会に出場します。女子リレーチームは、4×100mリレーで全国制覇した昨年のチームベストを上回り県新記録を出しており、連覇が期待されます。大会の様子は8月30日NHK教育テレビで放送予定です。

マジック入門教室

気軽に楽しく不思議を演出

初心者でも気軽にマジックに親しんでもらおうと7月19日、玉造公民館で「マジック入門教室」が行われました。この日のマジックは、複数の風船の中から一つを選んでもらい、その風船を安全ピンで割った中からお札が現れる、というもの。種明かしを含めた全体の流れや、トリックを見破られない工夫などを解説しながら、まずは講師がお手本を披露。その後、慣れない手つきながら受講者がマジックに挑戦し、割れた風船から見事お札が取り出されると、参加者たちからは歓声が上がリ、拍手が送られていました。



風船にはタネも仕掛けもございません

豊住地区キャンプ

夏の思い出ができたよ

豊住地区の4・5・6年生のキャンプ(同地区青少年相談員主催)が7月26日・27日、下総運動公園で行われました。児童たちは班ごとに分かれてオリエンテーリングやキャンプファイヤーなどを満喫しました。この日の夕食はカレー。自分たちで火をおこしたり、かまどに薪をくべながらの調理に悪戦苦闘。「煙で目が痛いよ!」と叫びながら、頑張っ作っていました。どの班も完成したカレーに「おいしく作ることができました」と満足顔。このキャンプを通してお互いの友情を深めることができました。



おいしいカレーができますように

飯田町・並木町夏祭り

公津の杜駅前に 大勢の観客を集め

公津地区内で隣り合う、飯田町(琴平神社祭礼)と並木町(並木町夏祭り)で7月26・27日両日、夏祭りが行われました。以前は開催日がずれることもあった両地区ですが、数年前から開催日をそろえ、競い合いながら両方の祭りを盛り上げてきました。27日に行われた公津の杜駅前の踊りの競演では、それぞれ自慢のお囃子に乘せて踊りを披露。駅前広場を埋めた大勢の観客から、盛大な拍手が沸き上がりました。



公津の杜駅前を埋め尽くす大勢の観客

小浮地区祇園祭り

8年ぶりに子どもの祇園が復活

梅雨明けの暑い一日となった7月19日、小浮地区で子どもたちによる祇園祭りが行われました。以前は中学生を頭に毎年行われていたものが、子どもの減少により8年前から中断。伝統的な風習が廃れていくことを惜しむ消防団の有志などが中心となって、復活に向け準備を進め、この日を迎えることになりました。地区の小学生12人は、水神社に集合した後、御太刀を担いで家々を順番に回ります。初めに「ターカレ、タカレ(集まれ)、ワツショイ、ワツショイ」と言いながら庭を2周。次に御太刀を玄関に担ぎ込みながら「悪魔をはらえ」、玄関から出ながら「足元気をつけろ」。最後にもう一度庭を回り「今年も豊年万作だ」と大声で叫び次の家へ。暑さに負けず元気いっぱい地区内の全47軒を回りました。



豊年万作を祈りながら次の家へ

消防救助技術関東大会

市特別救助隊が 全国大会へ

「消防救助技術関東大会」が7月31日、千葉県消防学校を会場に行われ、障害突破種目に出場した成田市消防本部特別救助隊が上位入賞を果たしました。同隊は、関東地区の代表として8月29日に北九州市で開催される全国大会へ出場します。障害突破種目は、経路に設けられた5カ所の障害を5人1組で突破し、その安全確実性と所要時間を競うもの。平成14年以来となる全国大会出場を決めた青野穰隊長は「声援に応え、上位入賞を狙います」と意気込みを話しています。



次々と障害を突破していく隊員たち